



編集発行 第24号  
群馬県立桐生工業高等学校  
桐生市西久方町1-1-41  
TEL (0277) 22-7141  
FAX (0277) 46-4703  
同窓会事務局 編集部  
印刷 株式会社大間々印刷

会長挨拶

同窓会の活動に感謝して

会長 蛭間謙次



同窓会員の皆様には、益々ご健勝にてお過ごしのことと推察申し上げます。

げます。今年の夏も昨年同様の猛暑日が続き、8月は殆ど降雨がなく大地は乾ききっていました。しかし、秋も深まり会員の皆様には体調も回復され、益々ご清栄の事でしょう。また、皆様には桐生同窓会の発展のために、ご理解、ご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。既にご案内の通り、同窓会の目的は会則第3条に会員相互の親睦と母校との連携を保ち、母校の教育振興に寄与することにあります。会員皆様には、この目的の達成のため、より一層のご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年は桐雷研究助成やマイクロバス(29人乗り)の購入を承認していただき誠に有難うございました。生徒や先生方は大変喜んでおりました。大いなる活用と

その成果が期待されるところであります。

今年も恒例の親善ゴルフ大会が、8月22日(水)に赤城カントリー倶楽部で開催され、152名の参加をいただきました。今年是他県からの同窓生の出席者が少なかつたのが、少々残念に感じられました。しかし、来年は心からお待ちしております。猛暑の中、全員無事に倶楽部ハウスに帰還しました。これもひとえに各支部の役員の方々、実行委員の方々のご尽力であります。予定の時間内に総てが推移し表彰式を迎えることができ、無事に終了することができました。参加者の最高齢者は86歳の会員で、埼玉県より参加していただき、乾杯の御発声をいただき、成績発表、表彰と続き、盛会の内にお開きになりました。参加者の多くは口々に自分もこのうち、斯くありたいものだと話しております。来年もこの時期に開催したいと考えていますので、心に留め置きください。

平成26年度は母校が開校して80年になり、この記念すべき年度に向けて、ここ1~2年は予算面は緊縮財政を布きたいと考えております。ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

校長挨拶

同窓会報の発行によせて

校長 樋口高則



同窓会報「桐雷第24号」の発行を心からお慶び申し上げます。

た、同窓会員の皆様には日頃より母校の教育活動に対してご理解・ご協力をいただき誠にありがとうございます。特に昨年度は念願でありましたマイクロバスを購入していただきました。部活動等の生徒移動に大変有効に使用させていただきます。さらに職員の研究助成や部活動振興への援助等、重ねて心より感謝申し上げます。

私は本年4月より桐生工業高校へ赴任を致しましたが、チームワークのよい職員と素直な生徒に囲まれ、初期に感じた戸惑いもいつの間にか薄れ、本校発展のため努力する決意を改めて感じております。また、この間同窓会総会、関西支部総会、笠懸支部総会に参加をさせていただき、多くの皆様と親交を深めさせていただきました。同窓生の母校によせる思いを強く感じる事ができました。誠にありがとうございました。

さて、昭和9年の開校以来78年を経過し、80周年を間近にひかえた本校であります。この間に時代の変化に対応しながら、その二一に力添えべく学科変更等を行いながら現在に至っております。卒業生は昨年度(23年度)の卒業生数を入れて2万人を超えました。現在の編成は機械科2クラス、電気科、建設科、染織デザイン科(定時制)工業技術科で、全校生徒数は671名です。昨年度の進路状況(全日制)は就職者87名(45%)、進学97名(50%)、内4年生大学は44名でした。厳しい就職状況の中でしたが、男子は比較的内定を得やすかつたのですが、女子はかなり大変でした。また県外については応募倍率が高く、内定を取るのが難しい状況にあったようです。進学については4年生大学進学者が増加傾向にあり、指定校を中心としてAO入試や公募推薦を利用しています。

各科の資格試験への取り組みはかなり充実しており、検定試験のためには合宿を組んだり、夏休み返上で特訓をしたりと大変熱心に指導をし、技能検定や電気工事士等全国レベルの合格率を示しています。また、運動部では少林寺拳法と体操部の個人、山岳部(クライミング)で関東大会出場を果たしました。定時制では陸上部がインターハイ予選で団体優勝し全国大会出場を果たし、軟式野球部も県大会で優勝し、北関東大会へ出場しました。各競技とも健闘していますが、結果においてはややさみしい部分もありますので、これからより一層、文武両道の学校づくりを目指し努力をしていきたいと思っております。同窓生の皆様には、これからもご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

開校記念講演会

本年度の開校記念式典は、本校同窓会副会長で(有)タナベ鉄工舎長の田邊賢一様にお願ひ致しました。今回は「仕事への情熱と挑戦」という演題で、定時制でも講演頂きました。

ケンメジャーというノギスと同じ使い勝手、鋭角、鈍角どちらも板想交点からの寸法が測れる世界唯一の測定具を開発販売に至るまでお話しくださいました。



# 総会

● 期日  
平成 24 年 6 月 23 日 (土)

● 会場  
桐生市市民文化会館  
4 階 スカイホール

今年度は89名の会員の方々に出席をいただき総会が開催されました。

平成23年度事業報告、会計報告、監査報告、支部活動状況報告、平成24年度事業計画案、予算案、役員改選案承認。同窓顧問の賛助年会費は概ね80歳まで、を常任幹事にも適用することを承認。

役員改選は、新副会長に腰塚富夫氏42歳と初谷幸一氏43歳。新常任幹事に田島忠一氏41歳、第11支部長に高野信彦氏35歳、第14支部長に大澤一卿氏32歳、群馬中央支部長に堀越誠一郎氏32歳。顧問に樋口高則学校長、石井智明定時制教頭を承認。同窓会表彰者6名に記念品の銀盃が贈呈されました。

## 親善ゴルフ大会

### 赤城カントリー倶楽部

8月22日(水)に152名参加の下、第21回親善ゴルフ大会が赤城カントリー倶楽部で開催されました。大会結果を報告いたします。

- ◆ 団体戦 (上位5名、ネット合計)  
優勝 笠懸支部 364・6  
準優勝 第14支部 366・8  
3位 第15支部 367・0
- ◆ 個人戦 (ネット)  
優勝 橋本隆年 69・8



個人優勝  
橋本隆年氏

## 支部活動報告

### 埼玉県支部

支部長  
鈴木栄次(34E)

- 準優勝 糸井佳夫 70・6
- 3位 向田洋一郎 70・8
- ◆ バストグロスマ賞  
一般 一場完次 75・0  
シニア 橋本隆年 77・0

埼玉県支部も他支部と同様、会員の老齢化に伴い、だんだんと活動の内容と回数が希薄となつてきております。これからも本部と強い連携を持ちながら頑張っていきたいと思います。

- ◆ 日帰り交流会 (桐生生徒応援)  
平成23年11月13日(日)
- 第13回関東地区スポーツクラ イミング競技会 (加須市体育館)

桐生生徒が人工壁の岩場登りで頑張ってくれて応援に力が入った。

- 第23回全日本ロボット相撲大会・高校の部 (ものつくり大学)
- ボット相撲は一瞬で勝負がつく激しさにビックリ! (参加6名)
- 来年もガンバレー再会を期す。

- ◆ 第29回支部ゴルフ大会  
平成23年11月24日(木)
- 上武ゴルフ場 (参加6名)
- 優勝 伊藤 明
- ◆ 大須賀一雄透明水彩画展鑑賞  
平成24年2月8日~14日

- 熊谷市八木橋デパート  
大須賀画伯への激励を依頼する。
- ◆ 第20回支部定期総会

- 平成24年3月18日(日)  
グラウンドゴルフ・ミニ大会  
荒川河川広場 (参加14名)
- 優勝 大塚 晴三
- 第20回定期総会 (参加14名)
- レストラン華屋与平衛  
国宝妻沼聖天山本殿見学  
参加8名で国宝彫刻を楽しむ。

- ◆ 第30回支部ゴルフ大会  
平成24年6月14日(木)
- 上武ゴルフ場 (参加8名)
- 優勝 伊藤 明
- ◆ 平成24年度本部総会  
平成24年6月23日(土)

- 桐生市市民文化会館 参加2名
- ◆ 第31回支部ゴルフ大会  
平成24年8月9日(木)
- サンコー72CC (参加6名)
- 優勝 小沢 貞夫

- ◆ 第21回本部親善ゴルフ大会  
平成24年8月22日(水)
- 赤城CC (参加8名)

## 静岡県支部

事務局長  
野竹康和(40E)

静岡県支部は設立満15周年を迎えました。地域は東海道沿線で最も長い約200kmの距離の地区です。会員数は21名、設立当初は36名程の人員でしたが、年と共に先輩の方数名が亡くなられ、又、故郷桐生へ戻られたり転居されたりと、10数名が減つてしまいました。

それでも支部会員の皆さんは、松村支部長を中心に良くまとまつてまいりました。本年度の同窓会総会は第16回を数えるに至り、兄弟支部として大変お世話になって

いる中部支部と合同で、静岡県西部の名所「浜名湖温泉」で1泊の総会を盛大に開催致しました。

桐生の本部からは、中野同窓会副会長、鳥塚教頭、藤平総務部長を迎え、関西支部からは園田支部長に出席を頂き、ホテルに着く前には奥浜名湖周辺の名所を巡り、翌日には市内観光と、中身の充実した総会の1泊2日でした。同窓会の本義である会員同志の親睦を大いに深める事ができました。感謝、感謝。

## 関西支部

田村輝雄(36M)

群馬県の「富岡製糸場と絹産業遺産群」が世界遺産として登録されようとしています。7月12日の新聞報道によれば、既に決まっている暫定候補の中から「富岡製糸場」をユネスコへ正式に申請することが文化審議会で決定されたそうです。早ければ2014年には世界遺産として登録される見込みです。

絹産業は日本の近代化を推進する上で大きな役割を果たしてきました。養蚕業は最も盛んでした。そして明治5年(1872年)には官営の富岡製糸場が設立されました。(上毛かるた「日本で最初の富岡製糸」)

養蚕農家で育つた私は、富岡製糸場他の絹産業施設を訪問し、その記録を自身のホームページに掲載しています。世界遺産候補の施設だけでなく、養蚕技術の変遷などにも触れています。ご興味のある方はご覧ください。

「近江の散策」と入力して検索し「旅エッセイ」をクリックし「絹の里めぐり」をクリックしてください。

## 群馬中央支部

飯田至弘(34E)

会員の皆さま、初めまして。群馬中央支部と申します。群馬中央支部は前橋より西の会員を対象として発足しました。初代支部長の荻野章氏は昭和16年紡織科卒業の大先輩で、現役の税理士です。群馬県庁近くで税務会計事務所所長として頑張っておられます。

この間、支部ではゴルフコンペや懇親会、役員会などは実施してきましたが、総会はできませんでした。昨年来、役員が荻野支部長宅に集まり相談を重ね、今年の2月4日に12年ぶりの支部総会となりました。当日は同窓会本部から蛭間同窓会長、中野副会長、黒澤副会長、百海事務局局長と桐生工業高校からは豊島学校長もお越し頂き、大変ありがたかったです。

総会は総勢22名の参加で、17年間支部長を務められた荻野章氏から堀越誠一郎氏(32年紡織科卒)にバトンタッチされました。

6月23日付けで蛭間同窓会長から長年支部長としてご尽力された荻野章氏に感謝状が届きましたので、7月24日に支部役員で感謝状贈呈式を行い、堀越誠一郎新支部長より荻野章氏に感謝状が贈呈されました。その後、荻野氏を囲んで和やかな集いが続きました。荻野先生には、これからも群馬中央支部の良き顧問としてご指導くださいますようお願いいたします。





# 学校だより ①

## 定時制

### 定時制の現況について

定時制教頭 石井智明

同窓生の皆様、定時制教育におきまして変わらぬご支援とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

部活動では、今年度も陸上競技部が全国大会への出場を果たしました。県予選会では5年ぶりに総合優勝を勝ち取り、3名の生徒が国立競技場で全力を尽くしてきました。軟式野球部は県大会で優勝しましたが、北関東大会では9回サヨナラで敗退し、残念ながら全国大会を逃してしまいました。来年は是非とも全国大会の出場を期待します。



定時制の在籍者数は現在76名（1年22名・2年20名・3年15名・4年19名）です。勤労生徒は48名（終日勤務7名）、部活動所属人数は38名です。他の運動部とかけ持ちで2つ以上の部



に所属している生徒が13名を数え、運動の好きな生徒達が多数在籍しています。

定時制のほとんどの生徒は「学校は楽しく好きだ」と言っています。職員室は生徒と職員との会話でいつも賑やかです。そして厳しい生活環境の中にあっても桐工定時制が生徒にとつての「居場所」でありたいと常に願っています。

元気に働き、勉強し、スポーツにと汗を流している生徒のために、今後とも温かく、そして厳しくご指導・ご助言くださいますようお願い申し上げます。



## 全日制

### 機械科

施設設備に関しては、第一CAD室のパソコン11台が更新（Windows7）され、CAMが導入されました。また、内燃機関実習装置やレーザー加工機を修繕し大切に使用しています。

資格指導の関係では、技能検定3級（普通旋盤作業）では18



名が合格し、技能検定3級（マシンングセンタ作業）では42名が合格しました。

技能検定を中心に資格指導に力を入れ、平成24年度の前期で、ジュニアマイスターゴールドが2名（桐工で4名中）、シルバーが10名（桐工で11名中）認定されました。今後とも生徒の更なる向上に努めていきたいと思っております。

### 電気科

電気科は、多くの資格に挑戦しています。昨年度の主な合格実績は、第二種電気工事士（毎年2年生全員が挑戦）は29名、第一種電気工事士2名、工事担任者DD1種3名、第二級陸上特殊無線技士38名など。ジュニアマイスターではシルバー2名、ゴールド7名、特別表彰1名と頑張りました。今年度も、多くの生徒が称号・表彰を目指して勉強に励んでいます。

中学生を対象とした出前授業では、従来のテーマに加え、「エネルギーと環境学習」を新たに開設し、消費電力や発電体験、水質検査等について学んでもらいました。（この様子）



う）にも、電気科として初めて参加しました。今年度も技術の向上や入賞目指して奮闘しています。今後とも、電気科職員一同、生徒達のさらなる向上に努めていきたいと思っております。

### 建設科

建築コースでは、今夏の建築設計競技（コンペ）において、3年生の久保田祐基君が全国第5位の快挙を成し遂げました。久保田君は、同学年の岩丸拓矢君と共にジュニアマイスター顕彰ゴールドにも認定され、素晴らしい活躍を見せています。



土木コースのものづくりコンテスト測量部門県大会でも、本校Bチーム（松村歩君、山田恭平君、山田知明君）が準優勝、Aチーム（飯島英之君、五十嵐悠樹君、内田祐二君）が5位と健闘し、来年度の成果が楽しみです。

この他、施設設備ではCAD室のパソコンや万能材料試験機等が一新され、更に充実した学習環境となりました。今後は、その他の建築設計競技における成績、また、土木コースの桐生川の継続調査結果、また、地域との連携を基に3年計画で行われる「次代を担う職業人材育成

### 染織デザイン科

「染織デザイン科」は全国に16校ある繊維系の学科の一つで、「染め、織り、デザイン」を学べる全国でも屈指の学科です。また、「織の都、桐生」で「織り」を学べることは浪漫溢れることであり、生徒・学科職員共々誇りを持ち学校生活を過ごしています。

「染織デザイン科」では、3年生が実習・課題研究で取り組んだ作品を「卒業制作展」で公開しています。今年度は1月に桐生市民文化会館展示室で開催しました。みなさん是非、御観覧ください。

昨年度からの新しい試みとして、染織デザイン部の生徒・職員が製作した手織りのコースターやマフラー、そして家紋の染めものを毎月第1土曜日に開催される「買場紗綾市」に出品しました。昨年度は9月、11月、3月に出品し大変話題となり、上毛新聞や桐生タイムス、2月には群馬テレビでも紹介されました。

これらのことは、同窓会から助成金を頂き、材料費に充てることで実施できました。紙面をお借りし、感謝申し上げます。



# 学校だより 2

## 部活紹介

### 体操部

平成24年度入学生2名が入部し、桐生工業高校の体操部が復活しました。練習は阿左美の「さくら」スポーツクラブでお世話になっていきます。5月の県総体で1年電気科男子の富岡健太郎が個人4位の成績で関東大会出場が決定し、6月1日〜3日、熊谷市の彩の国くまがやドームにて大会が行われました。本人は大きな大会というところで緊張していましたが、競技ではミスもなく全種目終えることができましたが、高校へ入ってから練習を始めたつり輪等の種目の点数が伸びず、入賞には至りませんでした。しかしこの経験は本人にとって大きな自信になったようです。今後は男女2名共々県外の大会へ進み、群馬に桐工ありと言われるよう頑張っていきたいと思えます。

### 少林寺拳法部

平成17年4月に少林寺拳法愛好会からスタート。その年の6月に財団法人少林寺拳法連盟から桐生工業高校少林寺拳法部として認証



されて以来、8年目になります。21年に活動内容が評価され、部に昇格いたしました。現在3年生3名、2年生5名、1年生6名の14名と私の他に先生が1名入会し、16名で活動しています。生徒の武階は、二段が3名、初段が3名、2級が4名、6級が4名です。5月の県総体では、2年生の女子が単独演武で4位となり、関東大会に出場しました。7年連続出場になります。



少林寺拳法には護身の技法の他に、教えと人づくりのシステムがあります。人づくりによる国づくりが目的です。半ばは人の幸せを考えられる人間を、一人でも多く育てたいと思っています。

### ブラスバンド部

ブラスバンド部は現在、1年生15名、3年生6名で部室棟2階の大部屋で活動しています。特に今年度は例年になく意欲のある沢山の1年生に恵まれ、少人数ながらも高音から低音までバランスの良いパート配置になっているため音楽的にはまだまだ未熟な面があるものの、部員の努力により活動に勢いをつけています。今年度は7月に夏の高校野球で毎年恒例の応援演奏を行いました

が、それを起爆剤として部員の意欲が高まり、夏季休業中は1年生のみで桐生市立広沢南部保育園にて慰問演奏を、また桐工1日体験学習においても演奏を披露し、各方面から好評の温かいお言葉をいただくことができました。今回同窓会の皆様のお力添えにより、学校楽器としてクラリネット1本を新たに購入できました。紙面をお借りしまして深く感謝申し上げます。ただ、近年部員減で活動が縮小していたため、現在の学校楽器は20年以上前の古いものが多く、残念ながらメンテナンス状態が極めて不十分であるのが現状です。今後音楽的な幅を広げるために順次楽器を新調できれば幸いです。今後ともご支援のほどよろしくお願ひ申し上げます。



### 硬式野球部

部員46名(1年20名、2年18名、3年8名)の硬式野球部は、保護者会、OB、地域の方々などのあたたかいご支援の下、日々充実した活動を行っています。平日は20時過ぎまで基礎、実戦の反復練習を行い、週末等の練習試合や年間3回の公式戦に向けて日々練習しています。また、シーズンを通じて「朝トレ」と称した心身の鍛錬にも精力的に取り組んでおります。

偉大な先輩方が残した実績は残念ながら、もはや過去の栄光になってしまっています。今後とも桐工野球の伝統を胸に、古豪復活を目指し、全力を尽くしていきます。これまでと変わらぬご支援をどうかよろしくお願ひいたします。



### 事務局だより

- 同窓会表彰者**(叙勲・褒章及び国の表彰を受賞された者)
- 飯嶋茂富氏25TM (瑞宝双光章)
  - 藤生修身氏28M (瑞宝小綬章)
  - 齋藤 勲氏34TF (瑞宝单光章)
  - 山口雅道氏40MI (瑞宝单光章)
  - 芝崎 勝氏29D (正七位瑞宝双光章)
  - 高橋章平氏45TM (瑞宝单光章)
- 同窓会功労者**(退任副会長)
- 武井庄太郎氏39D (副会長)
- 中野俊夫氏42W (副会長)**
- 退任役員**(常任幹事・支部長)
- 荒川精一氏22W (常任幹事)
  - 鳥島主計氏27W1 (第14支部長)
  - 荻野 章氏16W12 (群中支部長)
- 退任役員**(顧問)
- 豊島卓司氏(前校長・定年退職)
  - 神津文夫氏(前教頭・高工へ)
- 支部事務局交代**
- 飯田至弘氏34E (群馬中央支部)
  - 岡部和夫氏39M1 (中部支部)
- 本部事務局交代**
- 根岸賢彦(機械)・根岸俊行(建設)・塩野入浩二(建設)

が新事務局に、前事務局の上岡淳一62C(前工へ)・井上英之H16M2(伊工へ)・赤石雅彦61E2(前工へ)異動となりました。

**弔慰**

星野昭治32W常任幹事がH24年9月19日に73歳で逝去。合掌部活動振興関係

体操部と少林寺拳法部の関東大会。定時制軟式野球部の北関東大会。定時制陸上競技部の全国大会。山岳部の関東地区クライミング競技会。ロボット研究部の関東大会と全国大会への出場に対し部活動振興規程により、同窓会より激励金を贈呈しました。

**同窓会入会式**

昨年3月の卒業生から同窓会入会式を学校行事に組み入れていただきました。全日制は卒業式前日の卒業式予行日、定時制は卒業式終了後に、それぞれ各クラスの代表幹事と幹事に同窓会長から委嘱状が手渡されました。



### 編集後記

本年度も、桐生24号をここに発行することができました。今年度は、支部報告を充実させていただきました。載せたい記事等ありましたら、事務局までご連絡ください。